



第 35 号

令和元年 9月20日

発行 宮城県多賀城
高等学校同窓会
翔朋会

青春とは

翔朋会会長
及川 佳洋



今年梅雨明けと同時に猛暑がやってきました。この会報をお届けするころは厳しい残暑かもしれません。そんな中、会員各位におかれましては、益々ご活躍のことと幸いです。

おかげさまで、翔朋会も今年の総会で四十回目の節目を迎えます。これまで皆様から頂きましたご支援、ご協力で心から感謝し、御礼申し上げます。改めて言えば、間もなく還暦という年齢になり、高校時代は遠い昔、日々老いを意識する年齢になりました。

「とほ」という詩の一編です。ここでは全文をお伝えできませんが、かつて連合国総司令官を務めたダグラス・マッカーサー元帥が座右の銘としてその執務室の壁に掲げ、経営の神様松下幸之助氏も座右の銘としたといわれます。その詩には、人は信念とともに若く、疑惑とともに老いる。人は自信とともに若く、恐怖とともに朽ちる。青年は希望とともに若く、失望とともに朽ち果てる。つまり、信念、自信、希望を持つ限り、その人は永遠に若く、疑惑、恐怖、失望が生まれたら、年齢によらず人は老いる。若さとは、精神のあり方で、肉体的な年齢ではないのである。と、記されています。

「青春とは、心の若さである。大変意義深い言葉だと思える。」

題字紹介

「翔朋」の題字は元本校教諭石山静代先生の筆によるものです

人は年齢を重ねるとともに、やがてその肉体は衰え、遂には寿命を迎えます。それでも、最期のその瞬間まで、精神的に老いることなく生きることができたなら、その人の人生は幸せな人生であったといえるのではないのでしょうか。私はそういう生き方がしたい。と、と心から思っています。

翔朋会役員

- 会長 及川 佳洋 1 回生
- 副会長 丸山 隆 1 回生
- 副会長 石橋 和雄 2 回生
- 副会長 瀬戸口真弓 4 回生
- 監事 高橋 和人 5 回生
- 監事 武田 三弘 8 回生
- 監事 梅津 英久 2 回生
- 会計 熊澤 啓子 事務室長
- 書記 針生美由紀 4 回生
- 書記 横山 卓哉 8 回生
- 幹事 大内 昭浩 4 回生
- 幹事 菊地 紀栄 6 回生
- 幹事 千坂 成也 7 回生
- 幹事 磯 比呂志 8 回生
- 幹事 本郷 和重 8 回生
- 幹事 佐藤 隆久 11 回生
- 幹事 植杉 淳一 15 回生

第41回 翔朋会総会のご案内

日 時 令和元年10月12日(土)
 総会 18:00~18:30
 懇親会 18:30~20:30
 会場 TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口
 会費 4,000円(当日会場で徴収致します。)
 ※ただし、38~41回生(H28~H31年3月卒業生)は1,000円です。

○同封のFAX用紙もしくはメール(アドレスはFAX用紙に記載)で10/4(金)までにお申し込み下さい。

○今年度の幹事回生は、以下の5つの回生の方々です。同期の方をお誘いの上、ご参加ください(下記以外の回生の方もご参加いただけます)。

- 1 回生 (S54年3月卒業)
- 11 回生 (H1年3月卒業)
- 21 回生 (H11年3月卒業)
- 31 回生 (H21年3月卒業)
- 41 回生 (H31年3月卒業)

事務局からのお知らせ

・年会費二〇〇〇円の納入にご協力ください。翔朋会の運営を充実させるため、及び母校の発展のために使わせていただいております。同窓会HPを開設いたしました。是非ご覧ください。また、HP開設に伴い、全会員に対する紙による会報の郵送を止め、HP掲載としております。予算削減、情報発信の迅速化のためです。ご理解とご協力を

- 幹事 見立屋雅子 26 回生
- 参与 牛来 生人 校長
- 参与 菊田 英孝 教頭
- 参与 阿部 浩二 教頭
- 事務局 蜂谷加代子 総務部長
- 事務局 和泉 俊宏 総務部長
- 事務局 渡邊 浩一 総務部
- 事務局 千葉 智仁 同窓職員30 回生

事務局の連絡先は
TEL0222-366-1255
FAX022-366-1226
Mail:tagajo-hs@od.mysw.na.nip
になります。

◎今年の進路状況

41回生(平成30年度卒業生)264人中

国立大学	43
私立大学	149
大学校	2
私立短期大学	8
専門・各種学校	35
公務員	7
民間企業	1
受験準備	19
合計	264

ご挨拶

校長 牛来 生人



翔朋会の皆様におかれましては、ますますご活躍のこととお喜び申し上げます。また、日頃より多賀城高校の教育活動に対しご理解とご支援、ご協力をいただき、感謝申し上げます。私は、四月の人事異動で佐々木克敬校長の後任として着任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

今春の進路状況について別枠記事にも掲載されておりますが、おかげさまで大学・短大への進学198名、就職12名など、卒業生の健闘が光りました。殊に、災害科学科1期生がどのような進路を達成するかに関し、多くの皆様方にご心配をおかけしましたが、国立大学等6名の合格をはじめ、進学・就職とも普通科に遜色ない成果を残すことができました。3年間の学びを経て、自らの将来を考え、志を持って進路先を選択し、達成できたことは、普通科・災害科学科とも大いに誇りとするところです。

一学年普通科6クラス、災

害科学科1クラスの学校体制も落ち着きを見せつつあるのかと感じます。従来からの本校生徒の特徴である真面目さ、努力の姿勢などが引き継がれつつも、グループ討議や課題解決学習などに見せる積極性、ボランティア活動等社会貢献への高い関心等、生徒達が相互に好ましい影響を与え合っていることはうれしいことです。多賀城高校は、防災教育・探究活動・国際理解・ICT活用などを教育の柱に据え、今日的課題に引き合った教育活動を心がけ、実践しておりますが、がむしゃらに日々、挑み続けた3年間を経て、取り組みを振り返り、指導計画・実践の検証と改善に向けて、足下を固めていく時期にあるのではないかと考えております。

企業や行政、学校関係など、ご挨拶に回る中で、本校卒業生の皆様方とお話する機会もあり、先輩諸氏から「多賀城高校を応援している」「取り組みに期待している」「多賀城高校が大きな特徴を持ったことを歓迎する。」など好意的な意見・激励をいただいております。同窓生の皆様も各方面でご活躍されている姿は、生徒・職員ともども、心の支えであることを改めて感じる次第です。

同窓生の皆様方の今後益々のご活躍をご祈念申し上げます。ご挨拶いたします。

南極教室を終えて

5月8日の放課後に本校5号ホールにおいて、第60次南極観測隊員として南極にいらっしゃる29回生の内海様と衛生回線をつなぎ、南極の自然や観測隊員の仕事、毎日の生活についてお話ししていただき、本校生からの質問等にも答えていただきました。

極地から在校生との交流

国立極地研究所 第60次南極地域観測隊 内海 雄介

秋晴の候、同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、今年初の災害科学科卒業生が社会へと歩みを進め、様々な舞台で大きく貢献されていることと存じます。

この度、5月8日に南極の昭和基地から在校生へ向けた特別講義「南極教室」を、衛星回線を使用した生中継で実施させていただきました。

その内容は各観測隊員の仕事や、基地主要部とその生活、現在の観測内容などの紹介でした。馴染みのない用語での解説や回線トラブルがあったにも関わらず、生徒たちは終始熱心な姿勢は自分も見習わなければと感じました。

また、講義の後半に設けた質疑応答では「南極の水でかき氷を作ろうと思ったことはあるか？」などのユニークな質問もあり、高校生の素朴で素直な発想に和まされる場面



東北大会を終えて

弓道部二年 岡本 昇樹

私たち弓道部男子は、三年生五名、二年生二名の計七名で秋田県で行われた第四十九回東北高等学校弓道選手権大会の団体競技に出場してきました。結果は、予選一回目十二中、二回目も十二中で決勝トーナメントに進出しましたが、決勝トーナメント一回戦で黒沢尻工業高校に敗れ、ベスト8という形で終わりました。この大会を終えて、普段の練習で培ったものを試合で発揮する難しさを感じました。またチーム内に状態の良い人

災害科学科 1期生より

41回生 千葉 陽太

卒業式を控えた去る2月28日、所狭しと並んでいた掲示物が剥がされ、真新しくどことなく他人行儀な教室の黒板には一枚のプリントが貼られていた。左上には太字で「災害科学科卒業生・プレス対応の日時と場所」と書かれており、その下部には一覽表となつた日時と場所、メディア各社の社名、インタビュ対応者の生徒が記載されていた。その中には私の名前も載っていたが、特段感ずることもなく、何を話そうか頭の中でデモンストレーションする余裕すらあった。

とここまで原体験をグラダラ記したが、結論何が言いたいかというところ、災害科学科(ここでは一期生のみを表す)はこの三年間を経てカメラ慣れた。めっちゃくちゃに慣れた。「何を芸能人扱われること言ってるんだ」と指摘を頂くかも知れないが、あなたは入試会場の後ろで何度もフラッシュを焚かれないながら答案配布を待つような受験体験や、テレビカメラ10台近くを向けら



れながら入場する入学式、特別講師がメディアと抱き合わせで来校する授業などを受けたことがあるだろうか、いやないだろう。

今思えばそのカメラは世間が災害科学科という特別な学科に対して向けた期待の大きさを表れたのだらう。もちろん期待には心えねばならない。が、在学中に焦って結果を残そうとするのではなく、そこで三年間過ごした我々卒業生が世間に対して影響を与えられる存在になることが一番求められているのである。これから(災害科)のこの一期生以外を表す)のお手本となるよう自分自身を高めていきたい。

【事務局より】

かねてより本校体育館ステージの舞台幕の痛みが激しく、修繕しながら使用してまいりましたが、対応しきれなくなりましたことにより、昨年度の臨時役員会において、舞台幕(一文字幕及び源氏幕)の新規購入について検討していただきましたところ、快諾していただきました。お陰様で新調した舞台幕で新調した舞台幕で第41回卒業式を迎えることができました。同窓生の皆様ありがとうございました。

2019 県高校総体結果

◆硬式テニス

- (男子) 団体 ○多賀城-気仙沼 (2-0)
(女子) 団体 ○多賀城-富谷 (2-1)
一回戦 ○多賀城-仙臺 (0-3)

◆卓球

- (男子) 団体 ○多賀城-石巻 (1-3)
一回戦 ×多賀城-高城第一 (3-2)
二回戦 ×多賀城-追分 (0-3)

◆ソフトテニス

- (男子) 団体 ○多賀城-吉野 (2-1)
一回戦 ○多賀城-仙台高専広瀬 (2-0)
三回戦 ×多賀城-仙台南 (0-2)

◆バレーボール

- (男子) 一回戦 ×多賀城-釜淵 (0-2)
(女子) 一回戦 ×多賀城-大河原商業 (0-2)

◆バスケットボール

- (男子) 一回戦 ○多賀城-大河原商業 (65-62)
二回戦 ×多賀城-桜坂 (69-75)

◆柔道

- (男子) 個人 66キロ級 西塚大翔 一回戦敗退
100キロ超級 長谷 燈 一回戦敗退

◆弓道

- (男子) 団体 準優勝 ※(東北大会出場)
(女子) 団体 一次予選通過・二次予選敗退

◆ソフトボール

- 一回戦 ×多賀城-大河原商業 (2-9)

◆バドミントン

- (男子) 団体 一回戦 ×多賀城-登米総合産業 (0-3)

◆ラグビー

- (女子) 一回戦 ○多賀城-仙台二 (3-1)
二回戦 ×多賀城-仙台一 (0-3)

◆剣道

- (男子) 団体 ○多賀城-巨理 (5-0)
○多賀城-宮城水産 (4-1)
○多賀城-仙台南 (3-1)
×多賀城-仙台一 (1-3)

◆山岳

- (男子) 団体 第3位
(女子) 団体 第3位

◆陸上

- (男子) 200M 増尾有馬 準決勝進出
4×400mリレー 小松電士 準決勝進出
走幅跳 中川祐希 10位
三段跳 小松電士 19位
やり投 小針颯太 23位
八種競技 栗原孝弥 14位

◆サッカー

- 一回戦 ×多賀城-東北生文大 (0-4)

◆水泳

- 個人 女子100m背泳ぎ 千坂 遥南 6位
女子200m背泳ぎ 千坂 遥南 6位

今年度の異動

Table listing staff changes for the year, including names, positions, and schools. Includes a section for '★転入者' (New arrivals) with names like 牛来 生人 and 加美山 浩信.

平成30年度 翔朋会一般会計 決算報告

平成30年4月1日～平成31年3月31日

1. 収入の部 2,734,045円
 2. 支出の部 1,548,364円
 3. 残 高 1,185,681円

1. 収入の部 (単位:円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	備 考
会 費	1,076,000	1,056,000	▲ 20,000	2,000円×264人 卒業時入会金 2,000円×264人 卒業時金費
年度会費	2,000	115,890	113,890	同窓生より振込 (61名-手数料)
繰越金	1,562,145	1,562,145	0	前年度より
雑収入	855	10	▲ 845	預金利息
合 計	2,641,000	2,734,045	93,045	

2. 支出の部 (単位:円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	備 考
1. 運営費	65,000	13,730	▲ 51,270	
会議費	20,000	8,400	▲ 11,600	役員会お茶等
通信費	15,000	5,330	▲ 9,670	切手代
需用費	30,000	0	▲ 30,000	
2. 事業費	1,565,000	934,170	▲ 630,830	
総会費	200,000	61,524	▲ 138,476	総会告知記事掲載料等
会報費	475,000	239,292	▲ 235,708	会報印刷、HP管理委託
補助費	600,000	407,400	▲ 192,600	東北大会以上出場補助
記念品費	260,000	225,954	▲ 34,046	新入生校章、卒業証書ホルダー
慶弔費	30,000	0	▲ 30,000	
3. 予備費	811,000	400,464	▲ 410,536	体育館舞台幕
4. 繰り出し金	200,000	200,000	0	周年行事積立金として
合 計	2,641,000	1,548,364	▲ 1,092,636	

残 額 1,185,681円 次年度へ繰越し

令和元年度 翔朋会一般会計 予算書 (案)

1. 収入の部 2,296,000円
 2. 支出の部 2,296,000円

1. 収入の部 (単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
会 費	1,108,000	1,076,000	32,000	2,000円×277人 卒業時入会金 2,000円×277人 卒業時金費
年度会費	2,000	2,000	0	同窓生より振込
繰越金	1,185,681	1,562,145	▲ 376,464	前年度より
雑収入	319	855	▲ 536	預金利息
合 計	2,296,000	2,641,000	▲ 345,000	

2. 支出の部 (単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 運営費	65,000	65,000	0	
会議費	20,000	20,000	0	役員会経費
通信費	15,000	15,000	0	切手代など
需用費	30,000	30,000	0	コピー用紙、ファイルなど
2. 事業費	1,565,000	1,565,000	0	
総会費	200,000	200,000	0	総会補助
会報費	475,000	475,000	0	会報発行・発送 410,000円 HP管理委託 65,000円 他
補助費	600,000	600,000	0	東北大会以上出場補助
記念品費	260,000	260,000	0	多賀校章パッチ(H31入学生) 320円×280個=89,600円 卒業証書ホルダー(H31卒業生) 600円×277人=166,200円
慶弔費	30,000	30,000	0	
3. 予備費	366,000	811,000	▲ 445,000	
4. 繰り出し金	300,000	200,000	100,000	周年行事積立金として
合 計	2,296,000	2,641,000	▲ 345,000	

平成30年度 翔朋会特別会計 決算報告

1. 収入の部 3,224,688円
 2. 支出の部 0円
 3. 残 高 3,224,688円

1. 収入の部 (単位:円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	備 考
繰入金	200,000	200,000	0	周年行事のための積立 一般会計より繰入
繰越金	3,024,663	3,024,663	0	前年度繰越金
雑収入	337	25	▲ 312	預金利息
合 計	3,225,000	3,224,688	▲ 312	

2. 支出の部

平成30年度は事業なし

残 額 3,224,688円 次年度へ繰越し

監 査 報 告

平成30年度翔朋会会計に関する収支帳簿と証書類を監査した結果、適正に処理されていることを認めます。

令和元年7月24日

監事 高橋 和人
 監事 武田 三弘

令和元年度 翔朋会特別会計 予算書(案)

1. 収入の部 3,525,000円
 2. 支出の部 0円
 3. 残 高 3,525,000円

1. 収入の部 (単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
繰入金	300,000	200,000	100,000	周年行事のための積立 一般会計より繰入
繰越金	3,224,688	3,024,663	200,025	前年度繰越し金
雑収入	312	337	▲ 25	預金利息
合 計	3,525,000	3,225,000	300,000	

2. 支出の部

令和元年度は事業なし

